

経営比較分析表（平成28年度決算）

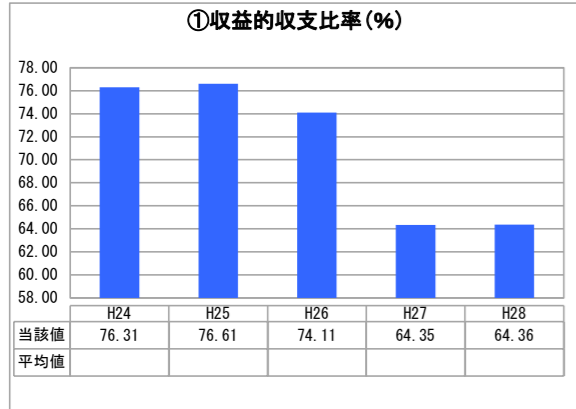
京都府 向日市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bb1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	99.99	86.23	2,224

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
55,731	7.72	7,219.04
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
56,408	6.52	8,651.53

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

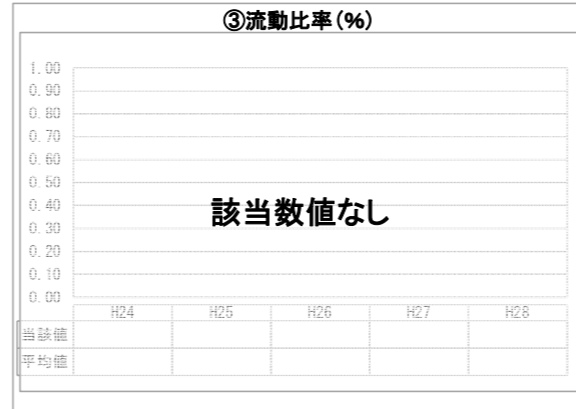
1. 経営の健全性・効率性



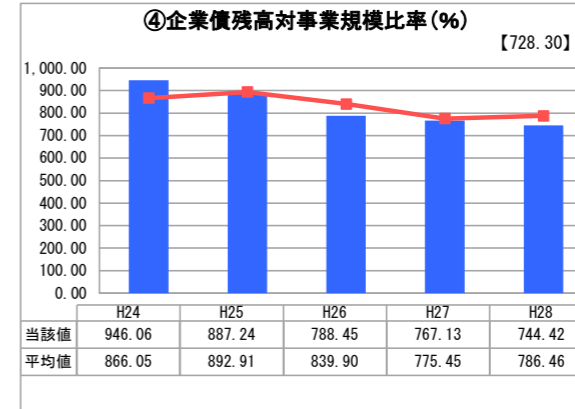
「単年度の収支」



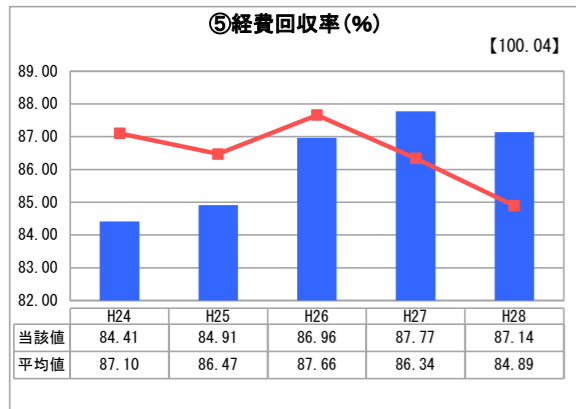
「累積欠損」



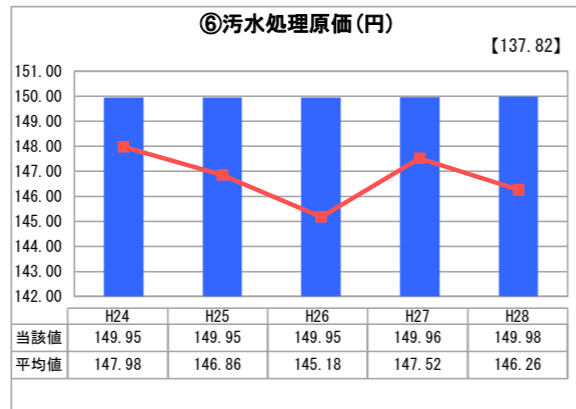
「支払能力」



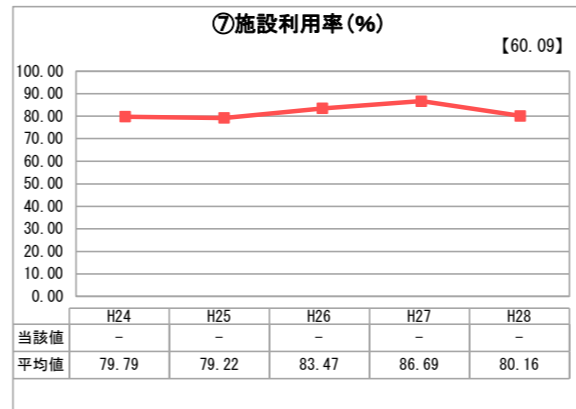
「債務残高」



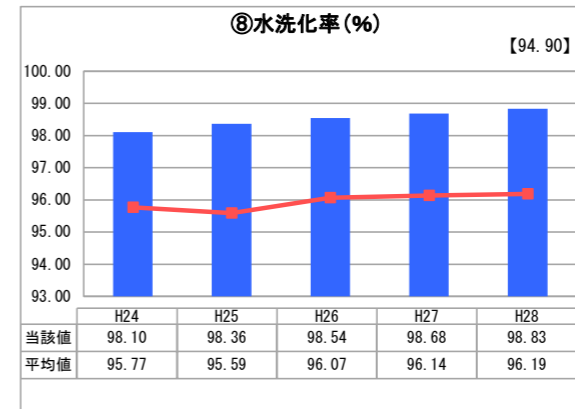
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

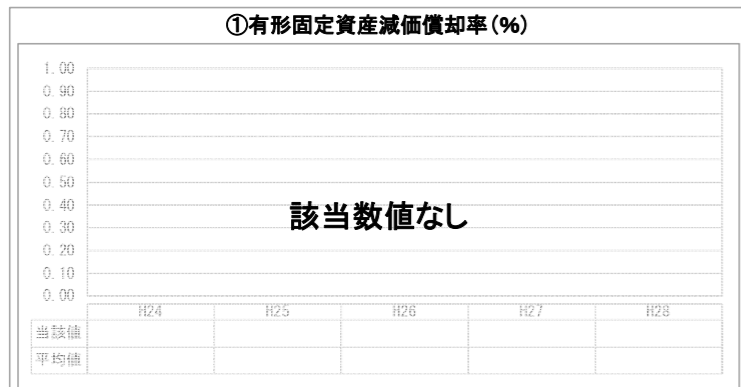


「施設の効率性」

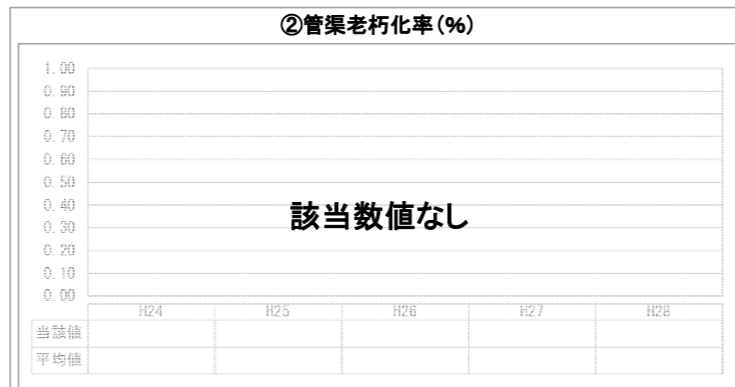


「使用料対象の捕捉」

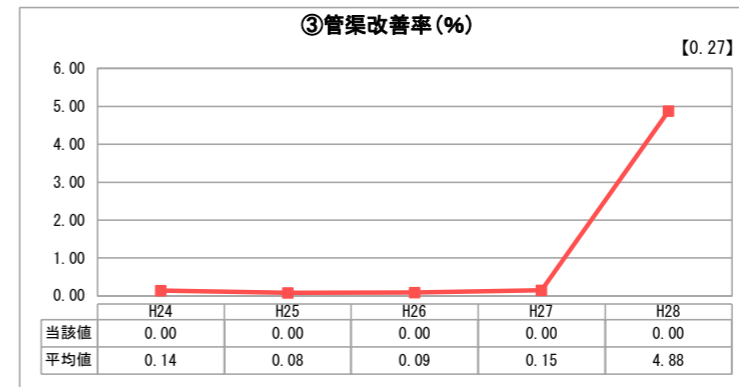
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率
100%を下回っており、必要な歳出を下水道使用料等で賄えず、一般会計からの繰入金に依存していることから、一般会計繰入金の適正化が必要です。
- ④企業債残高対事業規模比率
汚水事業整備が平成12年に完了しており、工事費の財源である企業債の新規借入の必要がないことから、年々低下しています。
- ⑤経費回収率
100%を下回っており、汚水処理費が使用料以外の収入により賄われていることがわかります。適正な経費回収のため、経営管理の向上が必要です。
- ⑥汚水処理原価
汚水資本費が高くなる分流式下水道であることから、類似団体と比べて高くなっています。
- ⑦施設利用率
市全域が桂川右岸流域下水道に含まれているため、終末処理場を所有していません。
- ⑧水洗化率
早くから水洗化を進め、汚水事業整備が平成12年に完了したため、類似団体と比べて高くなっています。

2. 老朽化の状況について

- ③管渠改善率
昭和49年から整備に着手したため、耐用年数50年に達している老朽管はありません。現在、予防保全型の維持管理を行い、下水道管渠の長寿命化に取り組んでいます。

全体総括

歳出の大部分を占める企業債償還金が減少傾向にあります。使用料で歳出を賄えない状況は今後も続く見込みです。
経営健全化のため、公営企業会計への移行を進めるとともに、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」策定に取り組んでいます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。